

研修教材 2010

森林作業道づくり
(改訂版)



一般社団法人 フォレストサーベイ

研修教材2010 森林作業道づくり (改訂版)

森林作業道作設指針に則った、丈夫で簡易な森林作業道の作設方法について、その考え方のほか、基礎技術から一般的な応用技術までの基本事項について整理し、作設に関する留意点等をイラストを用いて分かりやすく解説しています。改正「森林作業道作設指針」を掲載しました。

(3) 地形に応じた土工

ア 平坦地における土工
平坦地や緩傾斜地、丘のような地形で、切土が主体になってしまう場合は、路面を削り直して、表土と土を入れ替えて施工します。その場合、路肩が道路より低いと水が路肩より排水溝に流れやすくなるので、表土も削り、路肩より少しも高いところにシートをとり、覆土をします。そうすることで後まで道が乾くので、維持管理がしやすくなります。

イ 緩傾斜地における土工
緩傾斜地（傾斜3%程度以下）においては、切土と盛り土を交互に均等に施工し、片側片側で施工します。
施工にあたっては、まず、切土・盛り土部分の地山の表土を取り除きます。そうしないと盛り土部分で水分の調節ができません。盛り土の時に、十分な量が足りず、路肩部分におそれがあるからです。また、盛り土の中に表土や枝葉などの有機物が入り込んでしまうと、有機物の腐敗によって、腐敗の原因になるからです。
傾斜によっては盛り土が流れやすいので、

**▼森林作業道作設で重要な排水対策の基本
(分散排水や横断排水の考え方と作設事例)**

1-1 排水溝の設置
路肩の排水溝は、路肩を九度で掘削したり、横断排水溝で表土の厚さを確保するなどの低コストな対策をとり、

2-1 横断排水施設
路肩の横断排水施設を複数設置して行う分散排水が効果的な場合は、丸太やゴム板などを利用した簡易な横断排水施設を設置します。設置にあたっては、実際に走行する林業機械の重量や迂回時の動きを考慮して、傾斜や

3-1 表土の入れ替え
表土を削り、路肩より少しも高いところにシートをとり、覆土をします。そうすることで後まで道が乾くので、維持管理がしやすくなります。

4-1 分散排水
路面の横断排水施設を複数設置して行う分散排水が効果的な場合は、丸太やゴム板などを利用した簡易な横断排水施設を設置します。設置にあたっては、実際に走行する林業機械の重量や迂回時の動きを考慮して、傾斜や

▲森林作業道の作設作業の基本 (基本土工の考え方と作設手順)

A4判 106ページ オールカラー 価格：2,500円 (税込2,750円)

書籍購入・お問い合わせはこちら

一般社団法人日本森林技術協会

〒102-0085

東京都千代田区六番町7

電話：03-3261-6968

e-mail：mmb@jafta.or.jp

FAX：03-3261-5393

H P：https://www.jafta.or.jp/